

2020

Interim Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2021年3月期・営業の中間ご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

そのような状況下、金融仲介機能を十分に発揮して地域の企業や個人のお客様のニーズにお応えするとともに、新型コロナウイルス感染症に対応しながら地域社会が発展していく上で必要な非対面型金融サービスの強化にも取り組むことが、私ども地域金融機関の使命であると考えております。

超低金利環境の長期化や他業態との競合激化など経営環境は厳しさを増しておりますが、そのような使命をしっかりと果たすべく、中期経営計画「ALL for the Region」の下で「Face to Faceのお客様に寄り添ったサービス」と「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で全役職員が進化し、地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献し、地域と共に成長・発展する総合金融グループを目指してまいります。

皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年12月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目次

ごあいさつ	01
中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
ネットワーク	08
ESG・SDGs	09
株式のご案内	14

中期経営計画の概要

『ALL for the Region』 2019年4月～2022年3月

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

目指すグループ像

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、
共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



3つの基本方針

地域社会
発展への
貢献

共に課題に向き合い、地域とお客さまの発展に資するソリューション提供に努める。

未来への
進化・変革

技術革新やニーズの変化を捉えた金融サービスを提供しお客さまの期待に応える。

グループ
総合力の
発揮

グループ連携を強化するとともにグループ最適の推進・管理体制を構築する。

共通
価値の
創造

重点指標

	2019年度 実績	2020年度 中間実績
本業利益 (2行合算)*	169億円	85億円
当期純利益 (連結)	202億円	130億円
自己資本比率 (連結)	8.94%	9.32%
OHR (2行合算)	69.27%	68.18%

*本業利益については、当社独自の基準として「コア業務純益－有価証券利息損益」にて算出しております。

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位: 億円)

	2020年 9月期	前中間期比	2019年 9月期
経常収益	879	△ 27	906
経常利益	181	7	174
親会社株主に帰属する中間純利益	130	13	116
自己資本比率	9.32%	0.03%	9.29%

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

(単位: 億円)

	2行合算		
	2020年 9月期	前中間期比	2019年 9月期
経常収益	794	△ 17	812
コア業務粗利益	609	△ 4	613
経費(臨時処理分を除く)	415	△ 15	430
コア業務純益	193	10	183
除く投信解約損益	179	9	169
与信費用	44	△ 6	51
経常利益	187	9	177
中間純利益	141	16	124

(単位: 億円)

	北陸銀行		
	2020年 9月期	前中間期比	2019年 9月期
経常収益	429	△ 17	447
コア業務粗利益	329	△ 4	333
経費(臨時処理分を除く)	221	△ 9	230
コア業務純益	107	4	102
除く投信解約損益	98	2	95
与信費用	33	△ 8	42
経常利益	106	7	99
中間純利益	84	18	65
自己資本比率	9.00%	0.08%	8.92%

(単位: 億円)

	北海道銀行		
	2020年 9月期	前中間期比	2019年 9月期
経常収益	364	△ 0	365
コア業務粗利益	280	△ 0	280
経費(臨時処理分を除く)	193	△ 5	199
コア業務純益	86	5	80
除く投信解約損益	81	7	73
与信費用	10	2	8
経常利益	80	1	78
中間純利益	57	△ 1	58
自己資本比率	9.06%	0.08%	8.98%

当社における2020年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比27億円減少の879億円、連結経常利益は前中間期比7億円増加の181億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比13億円増加の130億円となりました。

連結自己資本比率は9.32%となりました。

2行合算では、経常収益は前中間期比17億円減少の794億円となり、中間純利益は前中間期比16億円増加の141億円となりました。

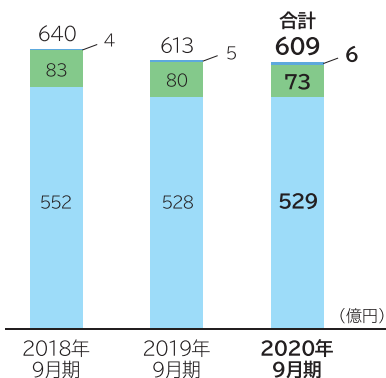
北陸銀行では、経常収益は前中間期比17億円減少の429億円となり、中間純利益は前中間期比18億円増加の84億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前中間期比の364億円となり、中間純利益は前中間期比1億円減少の57億円となりました。

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>

■ その他
■ 役員取引等利益
■ 資金利益



資金利益 **529億円**

貸出金残高の増加などにより、前中間期を上回る529億円となりました。

役員取引等利益 **73億円**

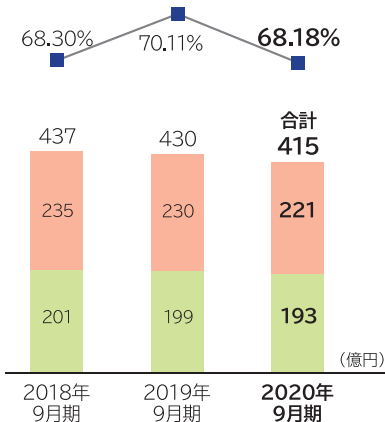
受入為替手数料および、投資信託、保険手数料の減少により、前中間期比6億円減少しました。

コア業務粗利益 **609億円**

上記の結果、前中間期比4億円減少しました。

■ 経費<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ OHR



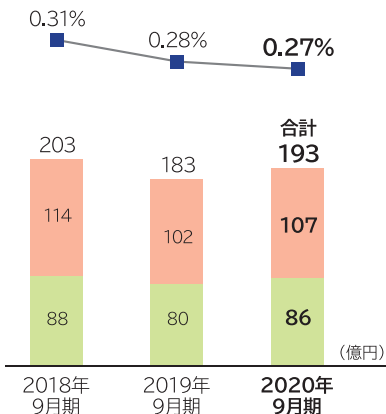
経費

415億円

人件費および物件費の減少により、前中間期比15億円減少しました。

■ コア業務純益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行
■ ROA



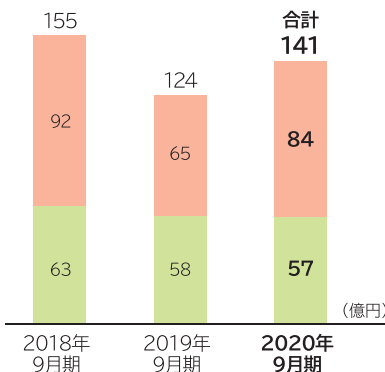
コア業務純益

193億円

コア業務粗利益の減少を経費の減少によりカバーし、前中間期比10億円増加しました。

■ 中間純利益<2行合算>

■ 北陸銀行
■ 北海道銀行



中間純利益

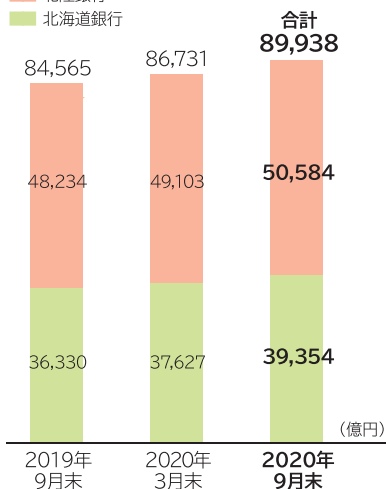
141億円

コア業務純益の増加に加え、与信費用が減少したことなどから、中間純利益は前中間期比16億円増加しました。

貸出金・預金等の状況

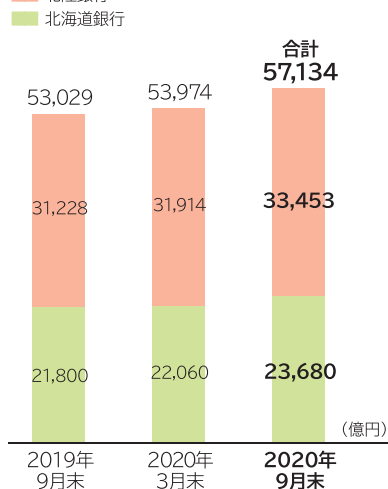
■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



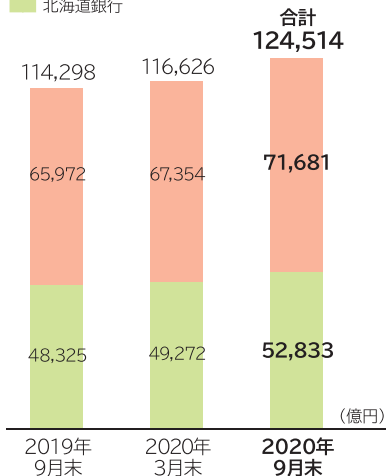
■ 中小企業等貸出<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



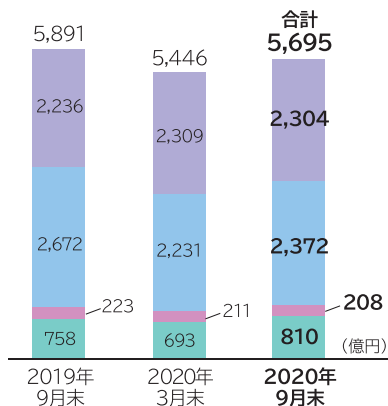
■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行



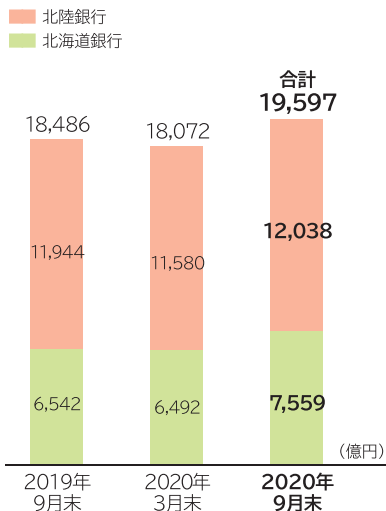
■ 個人向け投資型金融商品<2行合算>

公共債
投資信託
外貨預金
ほくほくTT証券



有価証券残高・健全性の指標

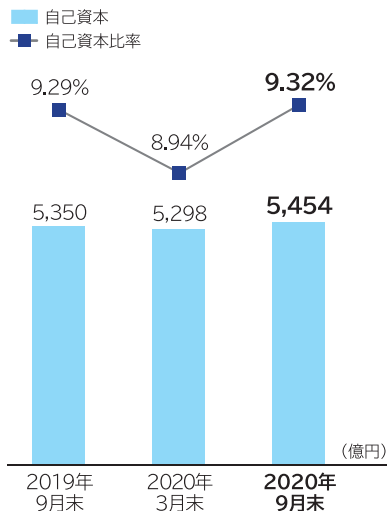
■ 有価証券残高<2行合算>



有価証券残高
1兆9,597億円

有価証券残高は、外国証券や地方債を中心に増加し、2020年3月末比1,525億円増加しました。

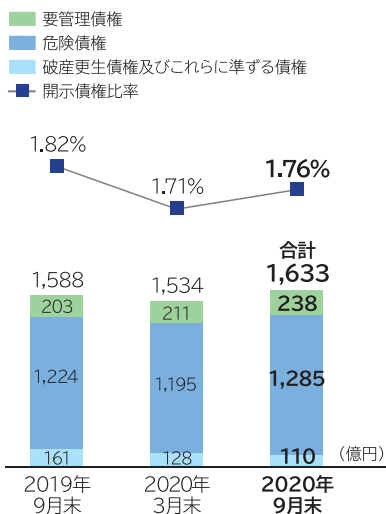
■ 自己資本比率<FG連結>



自己資本比率
9.32%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、2020年3月末比0.38ポイント上昇しました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>



金融再生法開示債権
1,633億円

2020年3月末比98億円増加しました。

開示債権比率
1.76%

2020年3月末比0.05ポイント上昇しました。

■ 格付

格付投資情報センター
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

銀行持株会社



**Hokuhoku
Financial
Group, Inc.**

■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 132,163,014株
第1回第5種優先株式 96,698,000株

■ 取締役の役職および氏名 (2020年6月23日現在)

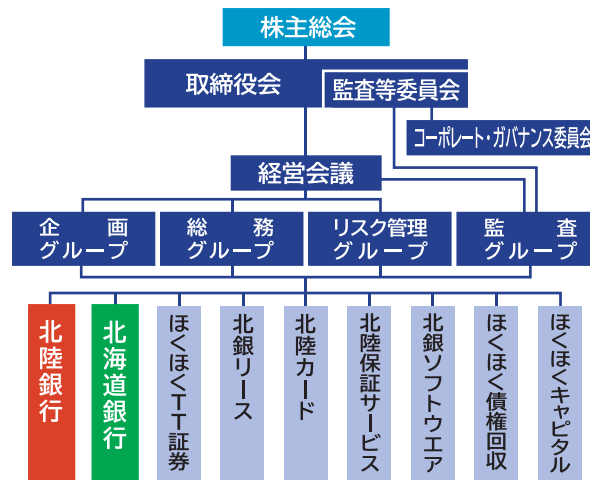
役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵 栄伸	取締役	加地 賢幸
取締役副社長	笹原 晶博	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役	麦野 英順	取締役監査等委員(社外)	川田 達男
取締役	兼間 祐二	取締役監査等委員(社外)	中川 了滋
取締役	中澤 宏	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥

- 従業員の数 専任者5名
- 設立日 2003年9月26日
- 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。4名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。
コーポレート・ガバナンス委員会	社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

- 名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務
2. その他銀行法が認める業務

■ 組織図

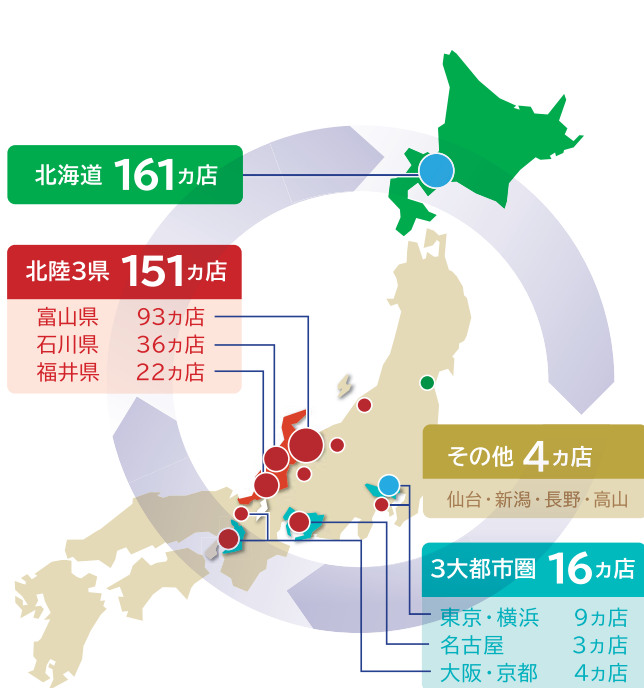


■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	同上
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイス業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

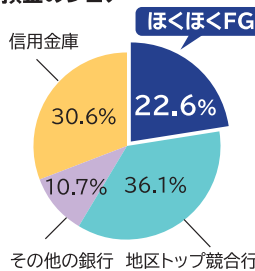
広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

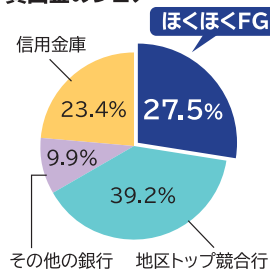


北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

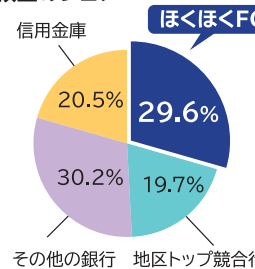


貸出金のシェア

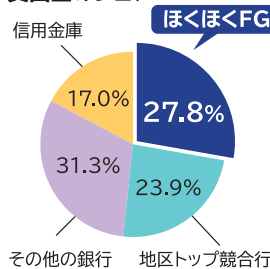


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



※シェアは、2020年3月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑥ 大連駐在員事務所 |
| ② ロンドン駐在員事務所 | ⑦ 瀋陽駐在員事務所 |
| ③ バンコク駐在員事務所 | ⑧ ウラジオストク駐在員事務所 |
| ④ シンガポール駐在員事務所 | ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所 |
| ⑤ 上海駐在員事務所 | |

海外駐在員事務所 9 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として2019年4月1日「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しました。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

2019年4月1日














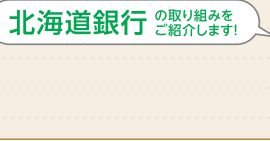
株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

取締役社長 庵 栄 伸

CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

経営理念	重点テーマ
地域共栄	持続可能な地域社会の実現  <p>◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する</p> 
	<p>◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める</p> 
	地域における金融リテラシーの向上  <p>◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する</p> 
公正堅実	健全で強靱な経営基盤の構築  <p>◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する</p> 
進取創造	すべてのお客さまにとっての利便性の向上  <p>◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める</p> 
	生産性向上に繋がる職場づくり  <p>◆多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む</p> 



持続可能な地域社会の実現

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けられたお客さまへの支援に全力で取り組んでおります。

〈各種取り組み〉

- ・「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う融資相談窓口」「休日相談窓口」の設置
- ・住宅ローン条件変更手数料等の各種手数料の免除
- ・「実質無利子・無担保融資」の取り扱い
- ・新型コロナウイルス感染症対応ローンの取り扱い など

〈新型コロナウイルス関連融資状況(2020年10月2日時点)〉

件数	金額
16,647件	5,524億円

※2行合算



また、皆さまに安心してご来店いただくために、飛沫防止シートの設置、ATMコーナーやロビーの消毒やソーシャルディスタンスの確保などに取り組んでおります。

ほくほくFG SDGs私募債の寄附先追加

北陸銀行および北海道銀行は、地域医療を支える医療従事者を支援するため、5月より「道銀SDGs私募債」(北海道銀行)※、6月より「くほくぎん」寄贈型SDGs私募債」(北陸銀行)の寄附先に以下の先を追加しました。本商品を通じた寄附活動により、各自治体の取り組みを支援するとともに地域社会の継続的發展に貢献してまいります。

富山県	富山県新型コロナウイルス対策応援基金
石川県	医療従事者への支援として活用
福井県	「心をひとつに ふくい応援」基金
北海道	「エールを北の医療へ!」

※「道銀SDGs私募債」の寄附先については、北海道「エールを北の医療へ!」のみ追加

北海道銀行 北海道医療従事者応援募金口座の開設

北海道銀行は、5月より新型コロナウイルス感染症の治療・感染拡大防止活動に従事する医療関係者の方を支援する募金口座を開設し受付しております。6月および9月、北海道の医療従事者等への支援などにお役立ていただくため北海道へ寄付を実施しました。



ほくほくFG ほくほく連携ビジネスマッチング

4月、北陸銀行と北海道銀行のお客さまがビジネスマッチング案件の情報を相互に共有できる「ほくほく連携ビジネスマッチング」の仕組みを整えました。両行に導入済みのビジネスマッチング

システムを連携することで、お客さまには地域を超えて自社の案件を広域に発信いただくことができます。

オンライン上で開催する商談会等も実施しており、ほくほくFGのネットワークを活かしたビジネスマッチングの連携に努めてまいります。

北海道銀行

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が認定する「地方創生に資する金融機関などの『特徴的な取組事例』」で大臣賞を受賞

5月、北海道銀行は「阿寒地域における観光産業の新たなプラットフォームづくり」への支援が金融機関等の地方創生に向けた取り組みのうち地域への効果が高い自立的な取り組みとして大臣賞を受賞しました。本事例は、新たな観光資源の企画・開発に取り組み阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社へ共同出資およびアドベンチャーツーリズムの推進、地域資源の事業・商品化に向けた事業プラットフォーム構築などを支援するものです。

ほくほく
FG

環境省「ESG地域金融促進事業」の採択について

6月、北陸銀行と北海道銀行は、環境省が地域金融機関に対して、地域課題に関わる事業の掘り起こしやESG要素を考慮した金融機関の取り組みに関する支援を行う「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択されました。採択された案件は「気候変動関連に対する地域金融機関としての顧客への支援体制の確立」（北陸銀行）、「気候変動を踏まえた北海道の水産業にかかる地域金融の実施について」（北海道銀行）です。ともに、地球温暖化が地域に与える影響を考察することを通じて、地域の課題解決に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

北陸銀行

M&A「バンクオブザイヤー」「地域貢献大賞」受賞

6月、M&Aに関する業務提携先である株式会社日本M&Aセンターより2019年度「バンクオブザイヤー」「地域貢献大賞」を受賞しました。「バンクオブザイヤー」は提携金融機関を対象とした賞の中では最高の賞に位置づけられており、北陸銀行の受賞は2018年度に続き2年連続の受賞、通算5度目となります。

事業承継対策としてのM&A業務に積極的に取り組んでおり、広域店舗網の活用や提携機関の協力を得ながら、今後も多様化するお客さまのニーズに一層きめ細かく対応してまいります。



北海道銀行

株式会社HAL GREEN（ハルグリーン）への出資および経営参画

7月、北海道農業者のサポート活動に取り組むHAL財団が行ってきた流通開発事業の取引を維持拡大し北海道の生産者とともに発展することを目的として、流通開発事業を承継する株式会社HAL GREENへの出資および経営参画を行いました。これまでに以上に加価値をつけた農産物流通の取り組み（特別栽培農産物、G-GAP取得支援、独自の認証基準等）を行うことで、北海道農業の発展に貢献してまいります。



地域における金融リテラシーの向上



新型コロナウイルス感染症への対応

これまで対面型で行ってきた各種セミナーを、オンラインやオンデマンド形式で実施いたしました。

ウィズコロナ時代においても、引き続き地域社会における金融リテラシー向上に努めております。



（オンライン、オンデマンドを活用したセミナー）

北陸銀行

- ・ほくりく長城会緊急オンラインセミナー
- ・投信オンラインセミナー
- ・経営者のための勤怠システム活用セミナー
- ・貿易保険入門&活用セミナー
- ・ほくぎんビジバ倶楽部経営セミナー

北海道銀行

- ・介護事業者、ヘルスケア事業者向けセミナー
- ・資産運用オンラインセミナー
- ・新型コロナウイルス対策オンラインセミナー
- ・確定拠出年金オンライン投資教育説明会
- ・電子請求書・電子契約書オンラインセミナー

健全で強靱な経営基盤の構築



ほくほくFG 「預かり物件管理システム」の導入

お客さまの利便性向上および厳正・明確な管理並びに事務の効率化を目的として、ほくほくFG共同にて、タブレット端末を活用した『預かり物件管理システム』を導入いたしました。このシステム

は、窓口や訪問先でお客さまから現金や通帳などをお預かりする際に、タブレット端末に入力いただくことで、お預かりから保管、ご返却までのプロセスを一元管理するシステムです。従来は紙による「お取次票」を用いていましたが、本システムによりペーパーレスでのお手続きが可能となりました。

すべてのお客さまにとっての利便性の向上



新型コロナウイルス感染症への対応

お客さまの「生活様式の変化」にお応えするため、より便利にご利用いただける非対面サービスの向上に努めております。

ほくほくFG 個人向けインターネットバンキングサービスのリニューアル

北陸銀行および北海道銀行は、7月より個人向けインターネットバンキングサービス「ほくぎんダイレクトA」、「道銀ダイレクトサービス」のリニューアルを実施しました。二要素認証による厳格な本人確認によりセキュリティ対策をしっかりと行い、機能面でも一層便利にご利用いただけるようになりました。



北陸銀行 「ほくぎんビジネスポータル」の導入

北陸銀行は、10月より法人および個人事業主のお客さまの利便性向上を目的に、法人向けインターネットバンキングのご利用者さま向けポータルサイト「ほくぎんビジネスポータル」を導入いたしました。

ほくぎんビジネスポータルは、「情報提供機能」、「電子交付機能」、「Web受付・相談機能」、「ID連携機能」の4つの新機能を搭載し、これまでの預金、為替取引に加え、書面交付のペーパーレス化や融資等の各種サービスのお申し込みやご相談等ができるようになり、ご来店いただくことなくお取引ができる業務が拡大しました。

北陸銀行 相続・信託の推進体制を強化

4月より信託業務においてお客さまの生前贈与をサポートする商品として新たに「暦年贈与型信託」の取り扱いを開始し、信託商品のラインナップを「遺言代用信託」「遺言信託」「遺産整理業務」「暦年贈与型信託」といたしました。

また、本部専門人員を6名から10名に増員し、7月には内6名を地区担当としました。全営業店に配置している信託取扱担当者

約1,500名と連携し、これまで以上にお客さまの幅広いニーズにきめ細かくお応えできる体制といたしました。



ほくほく
FG

「北陸銀行toto」「北海道銀行toto」の開始

9月より、auじぶん銀行と提携し、専用ホームページへの登録を行うことで、北陸銀行・北海道銀行にお持ちの普通預金口座からスポーツくじ(toto・BIG)が購入できるサービスを開始いたしました。当せん金も登録口座へ自動振込みとなるため、面倒な受取手続きは不要です。

北陸3県・北海道の地方銀行としては初めての取り組みであり、お客さまの利便性向上のほか、スポーツくじの売上の一部はスポーツ振興を目的とした事業にも助成が行われるなど、地域へも貢献してまいります。



生産性向上に繋がる職場づくり



新型コロナウイルス感染症への対応

ウィズコロナの社会で従業員が安全・安心に働くことができる環境の整備に努めてまいります。

〈社内の取り組み〉

- ・テレワーク、時差出勤の活用
- ・昼休の実施
- ・スプリット・オペレーションの実施
- ・オンライン形式での各種会議・研修の実施

ほくほく
FG

「えるぼし(3段階目)」、「くるみん認定」を取得

9月、北陸銀行は、女性の活躍推進に関して優良な取り組みを行った企業として「えるぼし(3段階目)」を取得しました。また、北海道銀行は、仕事と子育ての両立支援に取り組む優良な子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得しました。

今後も、多様な人財の活躍支援やワーク・ライフ・バランスの推進等に積極的に取り組み、誰もが活躍できる職場環境を整備してまいります。



株式のご案内

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ(https://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

みずほ
フリーダイヤル **0120-288-324**
受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、相続、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位:円)

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 (予定)
44.0	44.0	44.0	40.0	35.0

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただきます。また、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel: 076-423-7331
<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行
経営企画部広報CSRグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel: 076-423-7111
<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行
経営企画部広報CSR室
〒060-8676
札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel: 011-233-1005
<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブラインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。